

近松門左衛門没後 300 年記念シンポジウム

近松研究の未来にむけて

江戸時代に人形浄瑠璃・歌舞伎の作者として活躍した近松門左衛門。ゆかりの地尼崎に 1989 年に設立された近松研究所は 35 年間、近松研究の拠点として活動してきました。近松の没後 300 年にあたり、第一線で活躍する研究者をお招きして、“近松研究の今”を紹介するとともに、近松研究所の向かうべき未来について考えていきます。

日時：2024 年 11 月 24 日（日）13：30～17：00

会場：園田学園女子大学 3 号館 2 階 AV ホール 入場無料

【要事前申し込み】(<https://www3.sonoda-u.ac.jp/chikamatsu/>)



シンポジスト

久堀裕朗（大阪公立大学教授・近松研究所評議員）

「近松浄瑠璃研究の現在地—『曾根崎心中』を例に—」

藤澤 茜（神奈川大学准教授・近松研究所評議員）

「絵画資料から読み解く近松作品」

堤 邦彦（京都精華大学名誉教授）

「江戸の怪異表象～恋の魔境をどう象るか～」

モデレーター

大江 篤（近松研究所 所長・本学学長）

坂本美加（近松研究所研究員・本学講師）

主催：園田学園女子大学近松研究所

後援：兵庫県教育委員会、尼崎市、尼崎市教育委員会

問合せ先：園田学園女子大学近松研究所

〒665-8520 兵庫県尼崎市南塚口町 7 丁目 29-1

TEL：06-6429-9928 FAX：06-6429-9922

E-mail: chika1124sym@sonoda-u.ac.jp